第二回俳句作品公募
レベル高い本村の俳句
二〇四句が応募

三月、四月号の本紙を通して「こいのぼり」「たけのこ」「初夏」を句題に第二回俳句作品の公募を行ってきたが、このほど桑野峰松先生ら七人の方から審査にあたってもらった。

その結果、総合成績で小林竹生氏が一位に、また最高点句にも小林竹生氏の作品が選ばれた。

今回の応募総数は、三四人二〇四句にのぼり、前回の俳句大会の作品公募に比べ一七人、九二句が増えている。

この中で、小学生一人、女性七人が応募、また小阿賀吟社会員のように県下各地の俳句大会に参加したり、新聞投稿などをして優秀な成績をあげている人や今回の公募ではじめて俳句を創作したものなどさまざま。

審査にあたった先生の話しによると「横越村は昔から俳句に親しんでいる人が多く、俳句レベルは非常に高い」と賞賛している。

公民館では、この作品をもとに近く、句集「横雲」2号を発行する予定である。

また、第三回俳句作品公募を七月号広報で行う予定で、小、中学生そして俳句を創作して間もない人たちの作品を歓迎している。

成績は次のとおり

◎総合成績

一位　小林　竹生（二本木）14点
二位　坪谷十九一（木津）14点
三位　加藤　喜秋（木津）13点
四位　あがきよし（横越）11点
五位　神田　初鳥（横越）11点
六位　坪谷　耕雨（木津）10点

高点句（四点以上）

初夏の陽に乾く墨蓮水たらす　小林　竹生
梨棚の袋の白さや夏に入る　佐藤　志残
鯉のぼり病床の向きを変えにけり　小石みどり
一樹なき団地に高し鯉のぼり　神田　初鳥
世に疎く住みて筍日々に伸び　佐藤　俊博
水尾白く曳き初夏の船迅し　坪谷　耕雨
鯉幟我が家の平和日々つゞく　小林　竹生
鯉のぼり二階の窓へ尾が覗く　加藤　喜秋
筍を提げて安産知せくる　坪谷十九一
湯殿山山たけのこのお斉かな　あがきよし
初夏や水入れ替えの鯉の池　加藤　喜秋
鯉幟見えて日和の定まりし　田村　山火

あなたならどうする？

連日、公民館でさまざまな会議や集会が開催されているところが、定刻までに人員がそろわず、30分以上も遅れて会議や集会を始めていることが多く、何んとか定刻まで人が集まる方策はないものかいつも思うのである。

〝せまい日本、そんなに急いでどこへ行く〟の交通安全標語もあるけれど、一分一秒を大切にする今日の文明社会に、旧態依然と「横越時間」が現存していることは、はなはだ時代錯誤の感がある。

「どうせ、横越時間なんだから少しくらい遅れて行ってもよいだろう」と出席者の大半がそのような考え方をもったらどうなるだろう。

定刻まで来た人のことも考えてもらいたい。

また、主催者側の心中は複雑なものであることも考えてもらいたい。

案内文書が届いているか心配したり、時期が悪かったのか、計画がよくなかったのかあるいは、まだこない人に電話をしたり、あっちの入口、こっちの入口とながめ心配しているのである。

定刻まで来た人たちには、いちいち弁解しに廻ることも少なくない。

それでいて、定刻より遅れてきた人たちに会議や集会を中断して今までの経過を説明したりする気のつかいようである。

少なくとも会議や集会のときに事前に出欠の旨を主催者側に連絡するとか、遅れるときにもその旨を伝える方法をとったら会議や集会が定刻に始められ、充実したものになると考える。

そこで六月十日の〝時の記念日〟を契機に村民の皆さんから「横越時間」をなくするためにどのような方策が必要か、村民の皆さんの考えをお聞せいただき、この運動をすすめていきたいと考えています。

〝横越時間をなくするには
あなたならどうする〟

○四百字詰原稿用紙　二枚程度
○〆切り　六月三十日
○送り先　横越村公民館
○投稿の方に記念品を差上げます。

こどもサロン

（小杉小学校一年　さとうまなぶ君）

＜評＞
絵の具は三色にしました。かくことの大すきなまなぶ君は、早いタッチで、かわいいかたつむりを沢山かきました。
（小杉小　星山とし先生）

（小杉小学校六年　石倉優香さん）

＜評＞
やゝ練習不足の感がありますが、元気のいいどっしりとした字ができました。
はらい、止めなどにもう少し注意して書いたら、もっとしっかりした字になったと思います。
（小杉小　斎藤ミサ先生）

小林存と新潟の民具

期日　6月1日から6月30日まで
場所　新潟市緑町　新潟市立郷土資料館（旧税関）

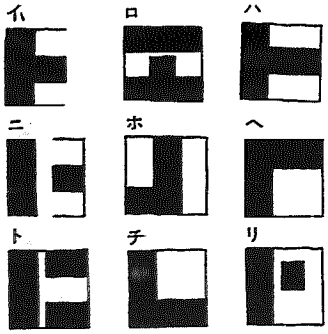
12の3ちゃん

家庭教育相談事業の活用を

県教育委員会は幼児教育の重要性を考えて、今年度も満二才児の第一子をもつおとうさん、おかあさん約一五、〇〇〇人（本村は五〇人）を対象に家庭教育相談事業を開催する。

同事業の内容は、①はがき通信による相談指導（年8回）。②巡回による相談指導（十月に新津市民会館で）。③テレビ放送による指導（十月から毎週日曜日午前9時15分から30分までNST）の三部門を中心に行われます。

対象者は、この事業をご活用いただき、健康ですこやかな子どもを育てましょう。



時の記念日
子どもクイズ

6月10日は〝時の記念日〟です。看板屋が「時」という字の大きな看板を組みたてる作業をしていた。ところが遅ぶ途中バラバラになってしまった。しかも組みたて番号をつけるのを忘れてしまったから大変である。

さて、数字のところに、左の看板がどのようにあてはめたら「時」という字になるか答を送ってください。正解者10名の方に記念品をさしあげます。

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

○〆切り　昭和四十九年六月二十日
○送り先　横越村公民館　時の記念日　子どもクイズ係
○応募資格　村内の小中学生